

Feature × Future

いま、動き出す。
Asakaの未来。



Asakaには「このまちを明るくするには」「子どもたちのためには」と考える人たちがいます。それはより良いAsakaの未来を願うから。そこから始まった、Asakaの未来に向けた取り組みに注目し、紹介します。



青葉台公園の新しい広場、「ココイロアオバ」。朝霞市文化・スポーツ振興公社が10月から、遊具を配置した、子ども向けの新しいプレイランドをはじめました。

望み ココイロアオバに込めた

「角張った印象を与えず、かわいらしい雰囲気を持った広場にしたいと思い、名付けました。」とココイロアオバ

を担当した伊藤さんは話します。親に、そして子どもにも親しまれる広場に。そんな願いが込められています。

新しい広場をつくる挑戦

青葉台公園の運営・管理を行う朝霞市文化・スポーツ振興公社では、公園内の自然や公園設備が中心部に固まっており、親子で訪れ遊びやすい場所であるという、青葉台公園の特色を活かしたいと考え



上から朝霞市文化・スポーツ振興公社公園体育施設事務所
所長 宮地 秀幸さん
主任 伊藤 秀晃さん

願いが集まる

新しい遊び場

から寄付をいただくことができました。

公園に行くきっかけに

ココイロアオバの実施をSNSで投稿したところ、予想以上の反響がありました。伊藤さんは「たくさんの人が朝霞の公園に関心を持ってくださっていることが分かり、うれしかった。利用者が増えてきたら、規模を拡大し、もっといろいろなものを開催していきたい。」と、企画発展への意気込みを笑顔で話してくれました。

こうしてオープンしたココイロアオバ。青葉台公園のゲートボール場には、みんなの思い出が詰まった遊具が集まります。そこには、目を輝かせ、遊んでいる子どもたちの笑顔があふれている、そんな広場が生まれていました。

一方、同公社公園体育施設事務所所長・宮地さんは、ココイロアオバのオープンに当たり、一つのこだわりがありました。それは、市民の皆さんから、使われなくなったミニバイクや三輪車などの遊具を広く募集し、広場で共有することです。これには、たくさん遊具で楽しみ、思い出を作ってもらおうとともに、「今は使われなくなったおもちゃをまた使ってほしい」という願いが込められています。募集を始めたところ、多くの共感を呼び、たくさんの方

一つのこだわり、たくさんの共感

11月以降は第1・3土日開催予定

園／朝霞市文化・スポーツ振興公社 ☎048-465-9811

午前9時～午後5時に青葉台公園ゲートボール場にてオープン。企画第1弾として、お子さんがのびのび遊べるプレイランドを開催しています。(0～12歳向け、一部遊具利用制限あり) ※遊具募集中。右のコード参照。

